令和６年度はじめてのまちづくり活動応援プログラム

（亀岡市支えあいまちづくり協働支援金）中間報告・交流会　報告書

日時：令和6年12月19日(木)午後2時30分～4時

場所：ガレリアかめおか3階　市民活動推進センター会議室

出席者：青のたすき、南つつじヶ丘悠遊俱楽部

　 　 市民活動推進センター(芦田、中井)

事務局(香川、藤井)

　欠席：カメオカレッジ実行委員会（事前に情報提供を受け、事務局から報告）

１　事務局から趣旨説明

中間報告・交流会の趣旨説明

２　各団体からの活動の経過報告

各団体から報告

３　意見交流

意見交換での主な意見

* 広報と人集めの手法について課題を感じている。特に自治会との協力が課題である。回覧版を使って住民に写真を回す市民活動を引き継いだ自治会があるが、当町は難しい。
* 自治会とは相談し、回覧板、全戸配布の際にチラシを配ってもらっている。近隣の自治会でも同様に協力してもらっている。
* 支援金をもらっていることでやっとチラシの配布に協力してもらえたが、基本的に市民活動のチラシ配布は断られる。さらにこの事業も年複数回の配布は断られている。今年は支援金をもらえたので広報協力が得られているが、２年目は採用されにくいのではと不安を感じている。赤い羽根共同募金への応募も検討している。
* 自治会館やコミュニティセンターに配架してもらうのはどうか。また、メニューをチラシに載せたらどうか。
* 基本的に配架することができない。メニューの決定が一週間前のため、チラシ掲載は難しい。
* 運営役員はどう集めているのか、また会員はどう集めているのか。
* コアで動いているメンバーは１０人程度いる。あえて会員や役員など線引きをはっきりさせないことで、より多くの住民が主催者側として参加できることを目指している。１年目より２年目の運営参加者が増加したことから効果として現れている。
* 活動を始めてから主催者としてメンバーになった人がいる。過去の料理教室参加者はＬＩＮＥグループでつながっており新たな交流が生まれている。
* 協力を頼めば答えてくれる人は多いが、企画立案など主体的に動いているのは代表一人のことが多い。主体的に動いてくれる人にメンバーになって欲しいと思う。あまりに意見が出すぎると反対にまとめるのが大変だと思うが。

４ 事務局から今後の事務手続き等についての説明・質疑応答(事務局)

分からないことがあれば、市民力推進課で相談を受けているので、早めに相談をしてほしい。

